



塩嶺体験学習の家バーベキューコーナー

◆レザンホールでの協働は平成8年の開館以来のサ

【答】 児童生徒の生きる力や健全育成の面からも重要と考える。校長会と活用促進を検討し、先生方にも施設を知ってもらい塩嶺活性化協力会と連携し、体験学習メニューを充実させ、童話作家藤田圭雄氏遺族寄贈の児童書2千500冊を読み聞かせなどに活用していく。

◆事業メニューの充実を
【問】 「塩嶺体験学習の家」がオープンした。利用者任せになってはいけないが、本市の自主事業は何か。(山口)
【答】 児童生徒の豊かな成長の拠点施設として活用したい。絵本合宿や集団合宿・イングリッシュキャンプなどメニューやイベントを充実させ利用促進を図っていく。



レザンプランナーズの視察風景

◆ポート団体レザンプランナーズの今後の活用は。(丸山)
【答】 今年度は先進地視察を取り入れているが、今後オープンな講座を開講して新規加入者を募り、さらなる市民との協働を図っていく。

公約の 取り組みと 評価は

◆市長の選挙公約は教育再生の内容は。(永田)

【答】 心の豊かさの再生と人間性豊かな人材育成が急務であり、特色ある教育施策の推進を図っている。

【問】 健全財政堅持のため、経営研究会を立上げるとしているが、具体的中身は。(永田)
【答】 公募による市民、経営者、

会計、法律の専門家など有識者が構成したい。

◆新産業団地への挑戦についての考えは。(永田)

【答】 塩尻市の特性を最大限に生かす立地環境が提供できる産業団地整備に向け調査研究を進めていく。



拡大整備のすずむアルプス工業団地

◆地区要望の取扱いは
【問】 区からの事業要望が実現しないとの声を聞くが。

【答】 事業要望調査に基づき、地域バランスも考慮し、実施可能な範囲で予算化している。

◆自治会等の活動を支援する補助金はあるか。(永田)

【答】 すくだし事業補助金制度がある。この事業は地区内の住民が実施する事業に原材料費を補助するもので上限は20万円、10割補助である。



住民参加によるすくだし事業

◆公約違反の新体育館建設
【問】 新体育館建設を「民意により方向付け」とのことだが、市長の意思は建てるのか建てるのか、どっちなのか。
民意のほうは住民投票によるのかアンケートによるのか具体的方法を示すことこそマニフェストの要件ではないか。評論家みたいな説明ではなく、どの方法でやるのかがいいと考えているのかを有権者に問うべきだ。その大切な方法を、市長3選後に決めるというのでは、本当は、民意によってではなく、自分で決めると言っているに等しい。(青柳)

【問】 23年度中に方向付ける。
【答】 市長は2期目に本当に図書館も体育館も両方建てるつもりだったのなら、なぜ体育館は建てられなかったのか。説明責任を果たす義務がある。